

展示会出品関係

かながわの歴史展(10)―激動の昭和史―

主催者 神奈川県文化財協会

展示場所 ユーリンファボリー

展示期間 昭和54年1月4日―1月11日

貸出資料

東京朝日新聞

東京朝日新聞 縮刷版

など3点

『新版歌祭文』『廓文章』資料展

主催者 国立劇場

展示場所 同上

展示期間 昭和54年1月3日―1月26日

貸出資料

おそめ久まつ花の蔵入

お染久松縁結恋質庫

など14点

憲政史特別展 第2回

主催者 憲政記念館

展示場所 同上

展示期間 昭和54年2月21日―3月13日

貸出資料

伊藤博文書簡 岩倉具視宛

斯丁氏講義筆記

など50点

特別展 江戸絵画の巨匠

主催者 浜松市美術館

展示場所 同上

展示期間 昭和54年3月1日―3月25日

貸出資料

武相豆名山勝概図

八丈島全図真写

日本および日本人論図書資料展示会

主催者 経済団体連合会 経済広報セン

ター 野村総合研究所

展示場所 経団連図書館

展示期間 昭和54年3月5日―3月9日

貸出資料

日本人の良心

我等の日本精神

など190点

「鏡山旧錦絵」資料展

主催者 国立劇場

展示場所 同上

展示期間 昭和54年3月4日―3月26日

貸出資料

鏡山(絵本実録)

加賀見山故郷錦

など18点

演芸資料展

主催者 国立劇場

展示場所 同上

展示期間 昭和54年3月22日―4月29日

貸出資料

江戸職人歌合

人倫訓蒙図彙

など6点

特別展「剣豪 宮本武蔵展」

主催者 佐野美術館(三島市)

展示場所 同上

展示期間 昭和54年4月29日―5月27日

貸出資料

花後巖流島

敵討巖流島

など3点

源氏と鎌倉展

主催者 毎日新聞社

展示場所 さいか屋川崎店, 藤沢店

展示期間 昭和54年4月19日―4月24日

4月26日―5月1日

貸出資料

吾妻鏡

源平盛衰記

浮世絵に見る明治憲法

主催者 神奈川県立博物館

展示場所 同上

展示期間 昭和54年4月28日—5月20日

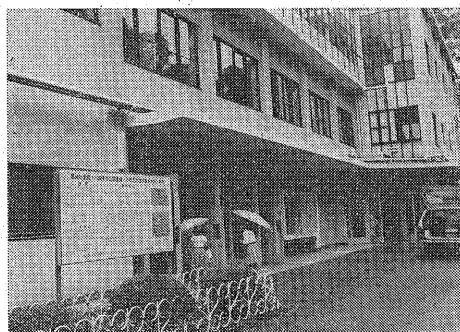
貸出資料

東洋大日本国憲案

井上毅書状

など12点

探訪記



小田原市立図書館

中 林 隆 明

小田原城跡の一角に「小田原市立図書館」がある。古い城下町として栄えた同市も、近隣の町村を合併、現在人口18万の中都市に発展した。ユニークなコレクションを抱える市立図書館は52年度末で9.3万冊。住民2人で1冊の比率だ。

54年6月7日、折からの雨—それも梅雨入りの初日でもあったが—に煙むる小田原市立図書館を訪問、川添館長に面会した。森徳行司書に資料の案内を乞う。書庫は新旧に分かれ、それぞれ2層から成る。旧館の3層が特殊コレクション・コーナーだ。

「全国特殊コレクション要覧」(昭和52)未収録分として、青蛙荘文庫があった。

これは元同館館長石井富之助氏の収集にかかる郷土資料で、1,300点ある。未整理の集書では、甲賀流忍術第14世故藤田西湖氏旧蔵の藤田文庫があり、和装本、巻物(免許皆伝など)を含め、約2,200点。

他に坂口安吾とも親交のあった山内我乱の旧蔵書、歌舞伎座とも関係のあった鈴木十郎・元小田原市長寄贈本を收藏する。

当地出身の作家として、北村透谷、牧野信一がおり、先年文化勲章を受賞した尾崎一雄氏に至るまで、文学者の系譜は脈々として生きている。この伝統を継ぐ新進作家の輩出を期待しつつ、夕刻の激しくなった雨の小田原を後にした。